

2-1 スペックとは

スマートフォンやPCその他の電子機器などでよく耳にするスペックとは、その商品の性能や仕様を説明した内容を示します。スマートフォンなど販売するショップサイトにはスペック表が掲載されています。その表を機種ごとに見比べどの端末がどのような機能を搭載しているか比較・確認することが出来ます。

ただしスペック表に記載されている項目は非常に多岐にわたるため、あらかじめ自分の求める性能など決めておくとよいでしょう。

以下はスペック表に記載されている項目の説明になります。

■ 搭載 OS

OSはスマートフォンを動かすためのシステムのことです。

基本的には「設定」アプリ内の「端末情報」にOSのバージョンが記載されています。そのOSのバージョンが古いと不具合（システムのバグ）が起きたり、セキュリティが弱くなったりする他、最新のアプリに対応できず使用できないなどのデメリットがでできます。

また端末自体が古い機種になると最新のOSに対応できなくなってきます。

■ CPU

CPU（Central Processing Unit）とは人間に例えると脳みそもいえる重要パーツをいいます。

主な仕事は「考え、処理する」ことで「画面のここをタップされたからこの動作をする」という基本的な動きを処理しています。性能が高ければ高い程処理スピードも速まり、ネットサーフィンや動画視聴、アプリの起動といったスマートフォンの動きの滑らかさに大きく関わっているのです。

CPUの性能を判断する際、覚えておきたいのが「コア」と「クロック周波数（GHz）」です。

コアはCPUのさらに根幹を担う部分で、心臓・核の様なものです。様々な処理を実行する役割を果たしており、コアが多い程一つのコアへの負担が軽減されます。スペック表にはデュアルコア（2つのコア）やクアッドコア（4つのコア）などと記されていることが多いです。

次にクロック周波数とは、CPUが1秒間に命令を何度出せるかを表す指標です。数字が大きい程、高性能になっていきます。「GHz（ギガヘルツ）」という単位であらわされ、「2.8GHz」や「1.8GHz」といったように表記されていますが、メーカーによってはスペック表の表記が簡略化されているものもあります。

■ RAM

RAM（Random Access Memory）はスマートフォンやPCにおいてCPUが直接アクセスして演算を実行するときに使うメインメモリ（主記憶装置）の事をいいます。CPUが動作するときに一時的に記憶します。

このRAMの数値が大きければ大きいほど同時に複数のアプリを立ち上げたり沢山のページを同時に閲覧したりと高速で平行した演算処理が可能となるのです。